

## BPA が心配？ じゃあ韓国への移住を考えて下さい



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2017 年 12 月 7 日(木) [SAFETY](#)

このブログを読んでいる方なら、おそらく BPA に何らかの関心を持ち、このところ報道されている BPA の安全性に関する論争についてご存知でしょう。科学的論争に取り組むために、世界中の政府機関が BPA に関する完全な科学的記録を繰り返しレビューし、BPA が健康リスクではないと一貫して結論づけています。

BPA の安全性を理解するための重要な部分は、ヒトへの実暴露レベルを理解することです。結局のところ、高レベルの BPA に暴露していなければ、皆さんが害を受ける可能性は低いです。この毒性学の原理は、通常、「毒か薬かは用量次第で決まる。」とされていますが、私たちが日々の生活の中で、食品中に自然に存在する化学物質から私たちが使用する製品を通じて接触する合成化学物質や私たちが気分を良くするために服用する処方薬まであらゆるものに広く適用可能です。

その意味で、韓国の研究者等の行った BPA に暴露した地元住民についての[最近の報告](#)は、いくつかの重要な新しい情報を提供しています。韓国国家環境保健調査([KoNEHS](#))の一環として、研究者等は、韓国人を代表して科学的に選択された 6,000 人以上の大人のグループで、(その他 20 種類の環境化学物質と併せて)BPA との暴露を測定しました。

参加者の尿中で実際に測定したのは BPA 代謝物の濃度で、それは BPA 暴露を測定するための代表的で、標準的な方法として科学的に認められています。暴露後、ヒトは BPA を生物学的に不活性な代謝産物に効率的に変換し、尿中に素早く排泄することはよく知られています。もし BPA 暴露を測定することに関心がおありでしたら、尿は BPA を見つける恰好の場所といえます。この生理学的プロセスは、BPA の安全性を検討する際に政府機関が検討する科学的記録の重要な部分でもあります。

研究者等は、BPA を不活性代謝産物という形で見つけ出しましたが、それは非常に低いレベルで見つかっただけです。彼らが見つけた典型的なレベルは、[カナダ保健省の研究者等](#)が設定した BPA のいわゆる「バイオモニタリング等価」の約 1,000 分の 1 で、これはカナダに於ける BPA の安全摂取限度に相当するものです。

これらの結果は、BPA に関する 2016 年の科学的記録のレビュー後の韓国食品医薬品安全処 (MFDS) の結論をさらに支持するものです。研究者等は、「BPA の食事暴露や、或いは複合暴露によっても、一般韓国人に何の健康上の懸念もないことがわかった。」とも述べています。この結論は、米国食品医薬品局 (FDA)、カナダ保健省、欧州食品安全局など、[世界の他の国の](#)政府機関が出した結論と同じです。

研究者等はまた、韓国国民の BPA 測定値は「[米国](#)や[カナダ](#)の値よりも低い。」と指摘しました。BPA への曝露をまだ懸念しているならば、韓国への移住を検討されたらどうでしょうか。韓国では BPA への曝露は、他の国々で既に報告されている低いレベルよりも明らかに低いのですから。

もちろん、友好的な人々や素晴らしい食べ物等、少なくとも韓国を訪れるには、他にも尤もな理由があるからですが。さて皆さんは何を期待していますか？